



2021.3.29

ポカポカとした暖かい日差しの中、戸外遊びが心地よい季節となりました。小さな草花が咲き始め、摘み取ってもらうと遊びの中に取り入れたり、「見て」と保育者や友だちに見せて回ったりする姿があり、春の訪れを嬉しく感じます。子どもたちと一緒に過ごしてきた日々を振り返ると、それぞれにいろいろな成長を見ることができ、とても嬉しく思います。

この一年間、私たち職員を温かく見守り、ご協力やご理解をくださいました保護者の皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。



ひよこぐみ

入園したころは、保護者の方と離れて泣いていましたが、今では毎日笑顔で登園して元気一杯遊ぶひよこぐみの子どもたちです。ハイハイをしていた子も歩行が安定し、とても活発に動き回っています。

また月齢の大きい子は、保育者と一緒にやりとりを楽しむ中で、少しずつ見立て遊びもできるようになり、「カンパ～イ」とジュースを飲んだりご飯を食べたりと、ママごとを楽しんでいます。月齢の小さい子は言葉も出始め、「ママ」「ブーブー」など見たものを言葉にしたり、「ちょうだい」「イヤ」など思いを簡単な言葉や身振りで伝えようとする姿も見られたりするようになり、微笑ましく感じています。

いすぐみ

春はよちよち歩きだった子どもたちですが、今では元気一杯に走ったりジャンプしたり、とても活発に遊んでいます。おしゃべりも盛んになり、友だちや保育士の名前も言えるように、泣いている友だちには、「〇〇ちゃん大丈夫？どうしたの？」などと心配そうに声をかけ、親しみをもって関わろうとする姿も見られるようになりました。

また、靴や靴下、ズボン等の着脱もできるようになりました。中には、「自分で！」と時間がかかっても頑張って取り組む姿が見られます。できた喜びに共感することで次への意欲につながってほしいと思います。

うさぎぐみ

毎日の生活を通して食事面や排泄面、衣服の着脱など身の回りのことが少しずつ自分でできるようになってきました。また、他園との交流を通していろいろな経験を重ねていき、成長した姿を感じます。

友だちとのやりとりも増えてきて、関わり合って遊んだり思いがぶつかってケンカになったりと、笑ったり泣いたりすねたりと様々な姿がありました。また、年下の友だちに優しく接してあげられる場面や仲良くやりとりを楽しんでいる様子は微笑ましかったです。

4月からは日吉津保育所での新生活が始まります。初めは誰もが不安な思いを感じることもあると思いますが、新しい環境に慣れて楽しく過ごせるようにと願っています。

